

2021 年度 自己点検・自己評価

実施日：2022年7月1日

実施責任者：校長 羽生美保子

実施担当者：神谷(谷山) 文子(主任教員)、久田 かおり(専任教員)、西田 文乃、本多 淑子(事務局)

1. 教育の理念・目標

1-1 理念・目標は定められているか	1	2	3	4	⑤
1-2 学校の将来構想を抱いているか	1	2	3	4	⑤
1-3 理念に基づく教育が行われているか	1	2	3	4	⑤

公益財団法人名古屋 YWCA のキリスト教の基盤に立ち、女性及び青少年のリーダーシップを育て、持続可能な社会を創造し、すべての人にとっての正義と平和を実現するという目的に従い、語学教育を通して国際理解と交流を進めることをその趣旨として、日本語教育を行っている。

理念・目標はパンフレット、HP 等に明記し、教職員・学生に伝えている。

学校の将来像については、毎月行われる職員会議にて、職員・専任教員間で常に話し合われている。

2. 学校運営

2-1 運営方針は定められているか	1	2	3	4	⑤
2-2 事業計画は定められているか	1	2	3	④	5
2-3 運営組織や意思決定機能は確立され、効果的なものになっているか	1	2	3	④	5
2-4 人事や賃金での処遇・職場環境の改善に関する制度は整備されているか	1	2	3	4	⑤
2-5 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	1	2	3	④	5
2-6 学校運営を客観的に評価し、維持向上させる機能が整備されているか	1	2	③	4	5
2-7 危機管理体制は整備されているか	1	2	3	④	5
2-8 施設・設備は教育上の必要性及び学生の安全確保に十分対応できるように整備されているか	1	2	3	④	5

運営方針、事業計画などは、毎月行われる職員会などで共有している。

本年度より授業の報告や引継ぎをクラウド上で行うことにし、業務の効率化につなげた。

地震などの災害に備え、防災用品や飲料水を学校各所に備蓄している。

昨年度より引き続き、コロナウイルス感染症対策として学生・教職員・来館者の検温、校内のアルコール消毒、換気、ソーシャルディスタンスの確保を徹底して行った。緊急事態宣言発出中や陽性者が出たときなどは、オンライン授業にすみやかに移行した。その結果、二次感染やクラスター発生を防ぐことができた。

3. 教職員

3-1 教育理念・目的が教職員間で共有されているか	1	2	3	④	5
3-2 教育の質を向上させるための取り組みが確立されているか	1	2	3	4	⑤
3-3 教職員評価を行っているか	1	2	3	④	5

毎月全講師が参加する「講師会」を実施し、教材開発、指導方法の検討、情報共有などを行い、全体の教育の質の向上のため努力している。また学期前、学期中に担当者連絡会、クラス毎の担当者打ち合わせを行い、クラスの方針やシラバスの検討や見直し、情報共有を行っている。

新任教員に対しては専任教員が3カ月教案指導等の研修を行っている。

また近隣の日本語学校と合同で「講師合同勉強会」を開催し、日本語教育に関する専門家を招き、教員に学びの場を提供している。2021年11月にオンラインで勉強会をした。

4. 教育活動

4-1 カリキュラムは体系的に編成されているか	1	2	3	4	⑤
4-2 授業評価の実施・評価体制はあるか	1	2	3	④	5
4-3 目的に向け授業を行うことができる要件・資質を備えた教員を確保しているか	1	2	3	④	5
4-4 成績評価は適切に行われているか	1	2	3	4	⑤

進学や就職につながる体系的なカリキュラムを備え、知識・経験ともに十分な講師が授業を担当している。

学生に対し、定期的にあchievementテストを実施し、担当教師全員で評価を行っている。

5. 学生支援

5-1 進学・就職指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか	1	2	3	④	5
5-2 学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか	1	2	3	④	5
5-3 学生の心身の健康管理・事故・怪我サポートを担う体制があり、有効に機能しているか	1	2	3	④	5
5-4 保護者と適切に連携しているか	1	2	3	4	⑤
5-5 日本を理解するための支援が適切に行われているか	1	2	3	④	5

個別に時間を設け、進学指導をしている。本年度は進学希望者全員が第一志望の学校に入学することができた。

学期中に、担当講師が個別インタビューを行い、進路や生活の悩みなど聞き取り対応している。

日本在住の身元保証人がいることを入学条件としており、入学前に学生とともに面接を行っている。学校生活に何か問題が生じた場合、すぐに身元保証人に連絡をするようにしている。

学生災害傷害保険に加入し、病気や怪我への備えを行っている。

本年度は、コロナウイルスの影響で経済的に厳しくなった学生が増えた。そのため日本語学校奨学金基金より緊急学習支援奨学金を3度給付した。(1回目:全学生に30,000円、2回目:5名に50,000円ずつ、3回目:2名に50,000円ずつ)奨学金により学習を継続することができた学生も少なくない。学校の行事は保証人や母国の家族が見られるようオンラインで配信している。

6. 在留管理と生活指導

6-1 入国・在留関係の管理・指導と支援が適切に行われているか	1	2	3	4	⑤
6-2 日本の法令を遵守するための指導を行っているか	1	2	3	④	5
6-3 常に最新の学生情報を把握しているか	1	2	3	4	⑤

留学生と保証人に対し、入学前と入学オリエンテーション時に、入管法上の留意点について説明している。専任教員と事務職員は、クラス担当教員と連絡を密にとり、学生の状況を常に把握するように努めている。新たに定められた告示基準に基づき、アルバイト先の把握や出席率の報告などを行っている。

7. 学生募集と受け入れ

7-1 学生の受け入れ方針は定められているか	1	2	3	4	⑤
7-2 学生募集活動において、教育成果を正確に伝えられているか	1	2	3	④	5
7-3 入学選考は適切かつ公平な基準に基づき行われているか	1	2	3	4	⑤
7-4 適正な定員設定および在籍者数になっているか	1	2	③	4	5

募集要項に明記された入学条件の下、受け入れを行っている。留学仲介会社を通さず、直接日本在住の保証人より入学申し込みがあった学生のみ受け入れている。入学前に保証人に必ず来校してもらい、教育方針や教育成果などを理解した上で受け入れを行っている。

8. 財務

8-1 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	1	2	③	4	5
8-2 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	1	2	3	④	5
8-3 財務について会計監査が適正に行われているか	1	2	3	4	⑤
8-4 財務情報公開の体制整備はできているか	1	2	3	4	⑤

本年度は、コロナによる学生数減少のため、財務的に大きな影響を被った。日本語学校の予算・決算を設置者のものと区分して編成し、遂行している。財務諸表は財団の監査を経てHP上に公開している。

9. 法令等の遵守

9-1 法令、設置基準等の順守と適正な運営がなされているか	1	2	3	4	⑤
9-2 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	1	2	3	4	⑤
9-3 自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に務めているか	1	2	③	4	5
9-4 自己点検・自己評価結果を公開しているか	1	2	3	4	⑤
9-5 関係省庁への定期報告を遅延なく実施しているか	1	2	3	4	⑤

学生の個人情報について、紙ベースの書類は施錠ができるキャビネット、電子データはパスワードを設定し管理している。

毎年自己点検を実施し7月1日に公開している。

入管庁、愛知県などへの定期報告は期日までに行っている。

10. 社会貢献

10-1 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	1	2	3	4	⑤
10-2 学生のボランティア活動を奨励・支援しているか	1	2	3	4	⑤

新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、毎年行っている社会貢献活動をする事ができなかった。

設置団体である名古屋YWCAが行う女性のつながりサポート事業「ナゴ女*つながる」に、当校の学生が支援員として参加した。また卒業生がホームレスへの炊き出し活動「スープキッチン」にボランティアとして定期的に参加している。

椙山女学園高校の学生1名のインターンシップを受け入れた。